



# 十月 (大)

## 神無月 角宿

十月八日寒露の節より  
月命戌戌三碧木星の月  
暗剣殺東の方

旧 九月大  
小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	巨目	大目	小目	満潮	干潮
1日	土	ひのえ たつ	五黄	●朔九時一分、労働衛生週間、法の日、北海道一般鳥獣狩猟解禁、共同募金、旧九月大、都民の日、不成就日	朔	先負	あやぶ	氏	大みやう	5.36	17.25	5.31	17.40	23.24
2日	日	ひのと	四緑	京都北野天満宮瑞饗祭(1日~5日)	二	佛滅	なる	房	十し	5.37	17.24	6.26	18.12	17.06
3日	月	つちのえ	三碧		三	大安	おさん	心	めつもん	5.37	17.22	7.20	18.45	17.28
4日	火	つちのひび	二黒	里親デー	四	赤口	ひらく	尾	●	5.38	17.21	8.14	19.19	17.06
5日	水	かえさる	一白	福島二本松提灯祭、達磨忌、庚申、一粒万倍日	五	先勝	とづ	箕	大みやう	5.39	17.19	9.08	19.56	17.06
6日	木	かのと	九紫		六	友引	たつ	斗	大みやう	5.40	17.18	10.01	20.37	17.06
7日	金	みづのえいぬ	八白	長崎くんち(9日迄)	七	先負	のぞく	牛	母倉	5.41	17.17	10.52	21.20	16.42
8日	土	みづのと	七赤	寒露五時三十分、阿寒まりも祭、亥の子餅、八せん終り	八	佛滅	のぞく	女	ちう日	5.41	17.15	11.43	22.09	16.42
9日	日	きのお	ね六白	○上弦一三時三十分、世界郵便デー、同僚交通週間、久留米高良大社例祭、大津天孫神社祭、旧重陽、甲子、不成就日	九	大安	みつ	虚	天おん	5.42	17.14	12.31	23.01	16.42
10日	月	きのお	うし	●体育の日、目の愛護デー、香川金刀比羅宮祭、川崎身代り不動尊認知症除、習慣病除	十	赤口	たいら	危	十し	5.43	17.12	13.17	23.57	16.42
11日	火	ひのえ	とら	神戸海神社祭、東京池上本門寺御会式	十一	先勝	さだん	室	●	5.44	17.11	14.01	—	16.42
12日	水	ひのと	う	横浜総持寺御征忌会、芭蕉忌	十二	友引	とる	壁	神よし	5.45	17.10	14.43	—	16.42
13日	木	つちのえ	二黒	十三夜、和歌山龜山神社祭、日蓮聖人忌、嵐雪忌	十三	先負	やぶる	奎	天おん	5.46	17.08	15.23	14.43	16.42
14日	金	つちのえ	一白	鉄道の日、己巳	十四	佛滅	あやぶ	婁	母倉	5.46	17.07	16.02	15.23	16.42

この月の天候は、大陸方面の高気圧が、いつどれほどに発達するかにかかっている。例年より早く明け、秋の長雨が早く明け、秋らしい晴天の日が多くなり、秋の心配が、ぐずついた天候が続くようである。また、「女心と秋の空」といわれるように、澄み切った青空が急変することが多いのである。晴れた日は、日中の温度がかなり昇り、夜冷え込むことが多く、気温の変化には十分注意したい。

〔婚〕十月の別称を「神無月(旧暦十月)」というが、これは、全国の氏神様がこの月に雲に集まるので、氏神不在の月という伝説によるものである。出雲の神様の縁結びの神で、一年のうちこの月に、全国の神がそこに集まるのは、話し合いの中に男女の縁を取り決めることも含まれているためといわれている。

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	巨目	大目	小目	満潮	干潮
15日	土	かのお	九紫	新宮熊野速玉大社祭、天理市十神宮例祭、姫路龍崎祭、金石曳舟祭、大つち	十五	大安	なる	胃	母倉	5.47	17.06	16.50	15.38	16.25
16日	日	かのお	八白	○望一三時三十分、愛媛新居浜太鼓祭	十六	赤口	おさん	昂	大みやう	5.48	17.04	17.24	16.42	16.25
17日	月	みづのえ	七赤	貯蓄の日、伊勢神宮神嘗祭、日光東照宮秋祭、不成就日	十七	先勝	ひらく	畢	大みやう	5.49	17.03	18.08	17.24	16.25
18日	火	みづのと	六白	統計の日、東京靖国神社秋祭、東京浅草観音彌供養、一粒万倍日	十八	友引	とづ	觜	神よし	5.50	17.02	18.55	17.46	16.25
19日	水	きのお	いぬ	東京日本橋べつたら市、京都建勲神社船岡祭	十九	先負	たつ	参	ちう日	5.51	17.01	19.46	18.55	16.25
20日	木	きのお	四緑	土用八時三十分、皇后誕生日、えびす講、誓文払い	廿	佛滅	のぞく	井	ちう日	5.52	16.59	20.41	19.46	16.25
21日	金	ひのえ	ね三碧	宇都宮二荒山神社例祭	廿一	大安	みつ	鬼	月とく	5.53	16.57	21.39	20.41	16.25
22日	土	ひのと	二黒	京都平安神宮時代祭、京都鞍馬の火まつり	廿二	赤口	たいら	柳	十し	5.54	16.56	22.38	21.39	16.25
23日	日	つちのえ	一白	霜降八時四十分、下弦四時一四分、電信電話記念日、小つち	廿三	先勝	さだん	星	●	5.54	16.56	23.37	22.38	16.25
24日	月	つちのえ	九紫	国連の日	廿四	友引	とる	張	神よし	5.55	16.55	24.36	23.37	16.25
25日	火	かのお	八白	伊賀上野天神祭、不成就日	廿五	先負	やぶる	翼	天おん	5.55	16.53	25.35	24.36	16.25
26日	水	かのと	七赤	原子力の日、宮崎神宮例祭、天理教本部秋季大祭	廿六	佛滅	あやぶ	軫	天おん	5.57	16.52	26.34	25.35	16.25
27日	木	みづのえ	六白	読書週間(11月9日迄)、三階亡、一粒万倍日	廿七	大安	なる	角	神よし	5.58	16.51	27.33	26.34	16.25
28日	金	みづのひび	五黄	速記記念日	廿八	赤口	おさん	亢	天おん	5.59	16.50	28.32	27.33	16.25
29日	土	きのお	四緑	福岡香椎宮秋季例祭、十方ぐれ入り	廿九	先勝	ひらく	氏	大みやう	6.00	16.49	29.31	28.32	16.25
30日	日	きのお	三碧	一粒万倍日	卅	友引	とづ	房	神よし	6.01	16.48	30.30	29.31	16.25
31日	月	ひのえ	二黒	●朔二時三十分、世界勤儉デー、旧十月小	朔	佛滅	たつ	心	母倉	6.02	16.47	31.29	30.30	16.25

「葬」薬石の効なく、または不慮の災厄にあたり、またたえそれが眠るような長寿の大往生……であつても、現世と冥界の別は必ず一度はあるものとは知らなうが、悲しくつらいものである。

儀式までの手配は次のようである。

◇死者を北枕にする。(氣運入滅の姿にならう)

◇目を閉ざし、手を胸の上に組むように形をととのえる。

◇神棚や仏壇を閉ざし、忌中の半紙を戸口に貼る。

◇死亡のことを近親や寺に知らせる。

◇葬儀の打ち合わせ。

◇葬儀社への交渉。

◇湯灌、納棺の準備及び納棺。

◇死亡通知の作成。祭壇の作成。

◇お通夜。

◇告別式、一般焼香。

◇三十九年東京オリンピック開催を記念して「スポーツに親しみ、健康な心身をつちかう」趣旨により定められた。(十月第二月曜日)